

平成16年1月16日

合併を考えるネットワーク・真田

代表者 佐納 良裕 様

真田町長 箱山 好猷

### 市町村合併に関する住民意向調査について（回答）

2003年12月25日付け、合併を考えるネットワーク・真田代表者佐納良裕氏からの申し入れ事項の質問について、下記のとおり回答します。

#### 記

まず、私は、将来の住民生活の安心・安全・安定した幸福感を見通したとき、現在でもこの枠組みによる市町村合併は必要不可欠な判断だと確信しています。この時代そして将来にわたって安定した住民生活を守るためには、今までのしくみを見直さなければ、対応は難しい状況です。地域づくりにおいて、合併という手法での改革は絶対的なベストでないにしても相当有効な手段であります。したがって、政治生命を賭けて議論を尽くしてまいりたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

さて、「結果を最大限尊重します」との発言について、見解を申し上げます。私は、結果を真摯に受け止め、最大限尊重すると申し上げております。つまり、簡素で分かりやすい資料を提供し、その後再度、議会と相談しながら住民意向の確認をしてみたいと考えており、決してその場で法定合併協議会へ移ると独断的に申し上げていません。最大限尊重するからこそもう一度町民お一人おひとりが真剣に考えていただき、真に必要な将来の行く末を考えていただくとの趣旨です。

次に、報道各社にて公表された署名簿の検証をさせていただきました。

その結果、同一筆跡、重複記載、全く意志がないのに意図的に記載されている家族のもの（署名者に確認済み）、小中学生、乳幼児など意思表示あるいは判断できない者までもが記載されているなど、明らかに捏造による署名簿となっており、全く3,939名という数字は信頼性に欠けるものであります。しかも報道各社ではこの数値があたかも信頼ある情報として掲載され、結果的に住民の不安を煽るために悪意をもって意図的になしたものと解することが出来ます。また、あたかも投票条例制定の署名人3,862名を上回る署名者数を集めたように装っていると思われます。

したがって、この釈然としない署名簿の作成した過程、意図を詳らかに釈明しない限り今後、貴会からのご質問にはお答えしかねます。